# 俺は死にたい

## これは生きる事への否定ではない

港務　柿坂　敏

おれは死にたいといっても、私を知っている人は真自面には受け取らぬだろう。私の真意を釈さないと「嘘をつけ！」、という言葉もとびだしかねない。

私のいう「死にたい」という言葉の意味は、決して生きることへの否定ではなく、強烈なる生への肯定の言葉である。

人間の〝死〟とは、熟れたる果実が自然に落下するように、万骨枯れて果てる〝自然死〟だけが〝死〟という事実の意味ではなかろうか。戦争や、坑場の、労仂災害、交通事故などで命を失うことは〝死〟ではなく、これらは「殺された」というが方正しいのであろう。つまり「おれは死にたい」という言葉は、「殺されたくない」という反射語なのである。

年若くして病菌におかされて死んだり、過重なる労仂の故に死ぬことなど、みんな「殺された」ことになるのだ。そう思うとき、人間の命のうちで果して何％が事実の意味での〝死〟に到達しているのだろうか。

あの人の死、この人の死…と私たちのまわりを見まわしただけでも、「殺されている命」のあまりにも多いことに驚くだろう。

先日配布された〝安保問題〟をとりあげた〝みいけ〟の号外のみだしの「だまっていては殺される」という記事をみて、あ る第二組合員が「エゲツないことを書く」と嘲笑したが、果して「殺される」ことに抗議し、反対し、訴えつづけることはエゲツないことであろうか。命の尊厳を考えるとき、命を守る闘いに、決してやり過ぎやい過ぎはないはずだ。それを嘲笑する思想にこそ、大きい危険な問題があると思う。

君には「おれは殺されない」という保障があるとでもいうのか。残念ながら、主観的に君がどう思おうとも、客観的にそういう保障は一片もないことは、厳然たる事実である。

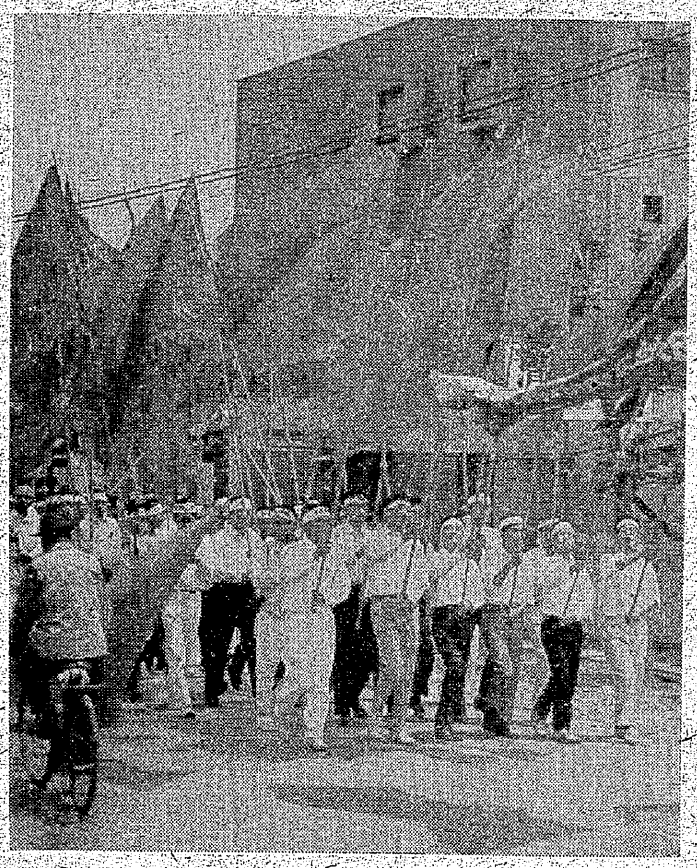
戦争の危機にだまっていては殺される社会情勢の中で、あえぎながらおれたちは呼吸をつづけているのだ

人間が、殺されることに恐怖心をいだくことは決して恥かしいことではない。人類の資産である。文化は、科学も哲学も思想も教育も、すべてが命の尊厳を守り、高めることを根本理念としてこそ発展進歩した歴史をもっている。労仂運動もまた、その例外ではありえない。

「天皇のためには命をも…」という、権力におしつけられたあのいまわしい思想が今日もなおそのまま資本にうけつがれ、「会社のためには命をも…」と衣替して存続しているのでは…と危惧することは、果して誇大妄想であろうか。

少なくとも、労仂運動の第一のスローガンに〝労資協調〟がうたわれることなど、明らかにその思想の芽ばえだと強く警告したい。

私は嫌だ！、殺されたくない。寿命をまっとうして「俺れは死にたい」。そのためにこそ、労仂運動の良心を守り続けるのだ。



赤旗が街の通りを流れる

## 豆ニュース【KNA】

イタイイタイ病、やっと公害病に。「なぜ、もっと早く…」。それができぬのが日本の政治だ。

×　×

政治資金規制ならぬ〝政治献金促進法〟。狂人に刃物。自民党にカネ。

×　×

パリ会談。「和平の主導権は米に」とハンフリー副大統領。負け犬ほどよくほえる。

## 詩

# 五月の譜

三川　小柳重義

春を忘れたような
このシーズン
グーンと澄みきった
青空――
五月と共に春と夏が
一時に活動を
開始する

同時に労仂者の
老いも若きも
すべてが永い寒さから
解放されて
いきものらしい
活気を取りもどす！

樹は力一杯の花を添え
緑の葉を急速に
ピッシリと
おおいかぶせる！
ピチピチと
体中が音を立てる……

われらの五月
全労仂者の祭典が
始まる――
さあ　集まろう
公園に！街に！芝生に！
語ろうみんなの春を

メーデーが終り
帰る途にフト逢った
公園の芝生に座して
いる若い二人を
見ているとまったく
五月の風景だ……

ボーイからいえば
ガールフレンド！
ガールからいえば
ボーイフレンド！
そして
二人は新鮮であり
自然だ――

二人の仲には
はかり知れない程の
活力が秘められている
しっかりと
手をつなぎ
この世の苦難を
のり切る形を完成した
緑の葉を
見るような姿だ！

あたたかい太陽を
いっぱいに吸いためた
深い若緑を想わせる
二人に幸あれと……

私は公園から
メーデー一色の
街に足音かるく
歩いてゆく

見るもの　きくもの
すべてがみんな生命を
取りもどしたように
いつもよりも
ピッチを早めて
人も車も　バスも自転車も
男も女も　やまの子も
しっかりと大地を踏んで
動いてゆく！

それはみんなが
労仂者が
自分の歌を　五月の歌を
うたいつづけるのだ！

メーデーの歌を
うたいつづける
足音だ！

## 咲き乱れてさつき盆栽展

宮浦支部の盆栽会（会員約七十人で、会長は伊藤義光さん＝甲方採炭）は、このほど〝さつき展示会〟を行なった。

同支部図書室に、ところせましとならべられた盆栽五十四鉢。赤白桃色など、とりどりの花が咲き乱れて退勤の人々の足をとめた。

同盆栽会は例年このさつき展示会を催すが、このほか松や梅などの盆栽展示会も行なうが、美しいさつき展だった。

## 提言

### 参議院選を闘うにあたって

三川　木村　守

一人の社会人として、また平凡な父親として社会を見つめるとき果してどんな気持を抱くであろう。小学校PTAの委員として活躍するある友人は、「学校の先生たちは時間時間ばかりいって、PTAの行事に協力度が薄い。子どもの教育には、もっと真剣になって欲しい。先生が日曜を休みたい気持はわかる。しかし、おれたち坑内労仂者は、もっと日曜を休みたいよ」と嘆く。

「日本労仂組合総評議会＝略して〝総評〟の同じ組織内にある〝日教組員〟対〝炭鉱労組員〟の同志的意志の疎通ができぬのはなぜか」と彼は不満。自分たちの周囲に、このようなことは山とあるのではなかろうか。

小さく見てみよう。炭労、三池労組、三川支部、そしてまた坑場分会、五人組。五人組制度を作って早や幾年にもなるが、この五人組さえ、いつどこでも、どんな場合でも行動を同一にできるという実証があるであろうか。ノーと答えなければなるまい。

患えばそこに、一人一人が生活を営む権利と義務を自ら背負っているからにほかなるまい。

一家の不幸は、その一家が背負わなければならない。どんな親しい間柄でも「不幸はお前にだけは…」として付き合ってくれる友人は、めったにあるものではない。かりにありとすればそこには組織人を超えた、本当に人間対人間の愛情があるのみである。

社会という大きな波の中で共存するとしたら、どんな生き方をしなければならないか。いや共存しなければならない。

いま自分たちの前には、大きな目標が一つある。七月七日に実施される参議院議員の選挙である。「社会における自分たちの立場を有利にできるのは、賃金を多くもらうことである。福利施設をよくしてもらうことである」と答えるのは、正しい言葉だろうか？　それは旧態以然たる言葉と覚らなければならない。

いまは昔の語り草、華やかなりし電産労組の没落、公労協の現在の苦しい闘いも、振り返れば社会における基礎が、過去にならなかったからではなかろうか。

政治の場における保障がつくられなくては、いつかは破たんにさらされる。

自分の立場を主張するとき、大衆の気持をシンシャクする余裕だけは養いたいもの。

千二百人の解雇をめぐる三池大闘争以後、大牟田・荒尾の両市はさびれる一方である。そこには、市民と労仂者の意志の疎通がなかった弱さが暴露されている。資本蓄積か、平和社会の実現か。大衆は、労仂者を含めて平和社会の実現こそ望む。

## 核潜寄港取り消せ

### 原研労組、要求提出

【KNA】日本原子力研究所労仂組合（鶴尾照中央執行委員長＝一千八百人）は、米核潜水艦ソードフィッシュ号の佐世保寄港にともなう放射能汚染問題について五月十日声明を発表した。

声明は、技術的な安全審査もなく、事故の有無についてのデータを自主的に調査できない核潜にたいして、政府が調査、対策をとる責任を回避、ウソの発表をしていることに強く抗議している。また声明は、①核潜の寄港で、原子力の平和利用と自主、民主、公開の原則がくずされている②平和三原則を無視した軍事利用が安全性を脅す③放射能異常をかくし、なしくずしに日本の核基地化を拡大しているの三点をあげ、核潜寄港許可取り消しを政府に要求している。

## ベトナム労働者、順調に生産を達成

ベトナム民主共和国の労仂者は第一・四半期（一～三月）にハイフォン市の四十八の機械、食品工場で三百件余りの技術革新に成功、千余りの生産目標を超過達成した。クアンニン省の一炭鉱は二月までに年間生産計画の三〇％を達成、別の炭鉱は三月までの生産計画を四十二日くりあげ達成し、目標を二万トン超過。ハティン省の輸送労仂者は三月二十日までに重要生産物の年間輸送計画の五一％を達成した。

【新華社＝KNA】